



平成17年10月31日

各位

三井不動産株式会社

平成18年3月期中間決算のお知らせ

三井不動産株式会社は、本日、平成18年3月期中間決算を確定しましたのでお知らせいたします。なお、詳細は決算短信をご参照ください。

連結中間決算のハイライト

◆ 連結業績概要（単位：百万円）

	当中間期	前中間期	増減（率）
売上高	492,982	456,512	36,469（8.0%）
営業利益	46,037	38,843	7,193（18.5%）
経常利益	36,832	28,796	8,035（27.9%）
中間純利益	23,246	7,490	30,736（-）

- ◆ 当中間期は、対前中間期比で増収増益。
- ◆ 売上高は、同比364億円（8.0%）増の4,929億円。営業利益は、同比71億円（18.5%）増の460億円。経常利益は、80億円（27.9%）増の368億円。
- ◆ 当中間期の純利益は、同比307億円改善し232億円。（前中間期は、固定資産の減損に係る会計基準の早期適用による減損損失を計上したため74億円の中間純損失。）
- ◆ 「賃貸」は、虎ノ門琴平タワー（東京都港区）などのオフィスビルや、交詢ビルディング（東京都中央区）、ららぽーと甲子園（兵庫県西宮市）、ZOE銀座（東京都中央区）などの商業施設の竣工・開業による収益貢献により、対前中間期比で104億円増収、34億円増益。なお、単体の首都圏オフィスビルの空室率は2.7%。
- ◆ 「分譲」は、マンション・戸建の計上戸数が対前中間期比で増加し、同比152億円増収、22億円増益。投資家向けの分譲事業も順調。
- ◆ 「仲介・販売受託・コンサルティング」、「管理受託」は、取扱案件の増加により、いずれも増収増益。特に、三井不動産販売を中心とする法人・個人仲介が好調に推移。
- ◆ 当中間期の好調な業績を踏まえ、期初の通期業績予想を変更せず、過去最高の経常利益、当期利益を見込む。なお、セグメント毎の業績見通しは、決算短信P.15に掲載。

（単位：百万円）

	通期予想	前期実績
売上高	1,125,000	1,111,359
営業利益	122,000	115,764
経常利益	100,000	94,637
当期純利益	50,000	28,693

以上

<添付資料>

- 1．平成 18 年 3 月期中間決算短信（連結・単体）
- 2．平成 18 年 3 月期中間決算短信 補足説明資料

本日この資料は以下の記者クラブに配布しています。

兜クラブ 国土交通記者会 国土交通省建設専門紙記者会

お問い合わせ先 三井不動産株式会社 広報部 03(3246)3155
--